

ヒメイトラノオ

Asplenium capillipes Makino

チャセンシダ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー

該当なし

選定理由

生育地が稀で個体数が少ない。(現況:RO)

形態

根茎が短く斜上し、葉は2~3回羽状複生する。葉は地に接してロゼット状に叢生する。葉長はほぼ3~6cm位で小型の草本である。

国内分布

北海道、本州、四国、九州。

県内分布

南加賀区。

生態など

イトラノオに似るが中軸状に無性芽を生じ、胞子が大型になる。繁殖は無性芽と胞子による。胞子は夏に熟し始め、風で散布する。

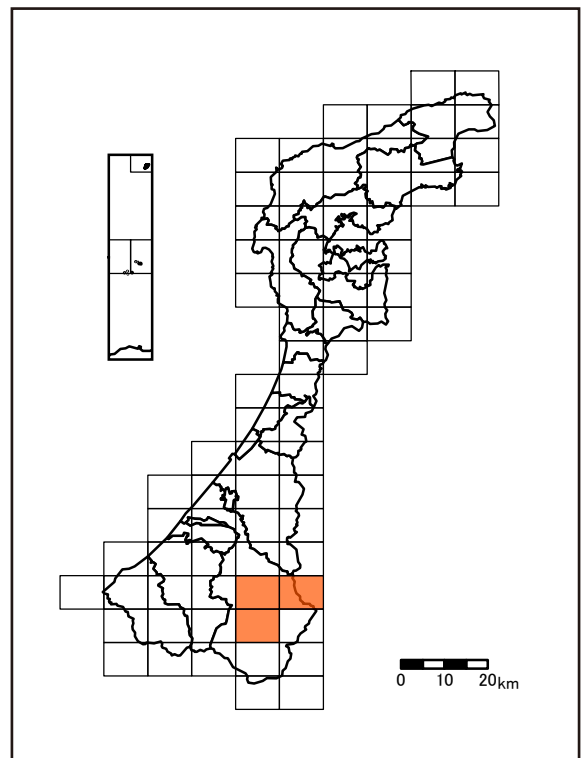
生育環境

山地の樹林下のやや陰湿な場所。通常石灰岩上に生える。県内では溪流や歩道に接する岩壁や大きな岩に着生する。

危険要因

森林伐採、河川開発、ダム建設、道路工事、自然遷移、産地局限。

写真(図)はありません。



県内の分布